



招提小だより

第5号

家庭数配付

令和3年度 枚方市立招提小学校 学校だより 令和3年6月7日

6月は「子どもの安全確保推進月間」です

今年の6月8日で、大阪教育大学附属池田小学校児童等殺傷事件から20年が経ちます。あれから、もう、それほどの年月が経ってしまったのかと思うと、不思議な気持ちにさえ、なってしまいます。思い起こせば、あの当日、私は中学校で勤務していましたが、ふだん通りの学校生活を、子どもたちと過ごしていました。しかし、この第一報を耳にした時、これはいったい何が起こったのか、それを想像することすら容易にはできないような、なんとも表現しがたい、そんな衝撃を受けました。その後、次第に、テレビのニュースや新聞の報道で詳細を目に、耳にするたびに、あらためてその恐ろしさが増していったことを覚えています。

携帯サイト



大阪府教育庁では、事件直後の平成13年7月に「学校における児童生徒等の安全を確保するために」と題した指針を策定して、「子どもを守る大人のスクラム」を合言葉に、毎年6月を『子どもの安全確保推進月間』とし、6月8日を『学校の安全確保・安全管理の日』としました。もちろん、それは事件を風化させることなく、安全確保に取り組むための対策のひとつです。

当時、よく「地域に開かれた学校」という言葉を耳にしていましたが、そのような動きや考え方も根底から揺るがすような、そんな大事件であり、いろいろなことについて、もう一度考え直していかなければならないということを思い知らされたものでした。

今年も、この月間を通じて、子どもたちの安全を確保する機運が高まり、「子どもを守る大人のスクラム」がよりいっそう強固なものとなるよう、私たちも、また、気持ちを新たに、日々の取り組みを進めて行かなくてはならないと思います。

また、その一方で、3年前の6月18日には「大阪北部地震」にも見舞われました。ついこの間のことであるのに、もう、私たちの記憶からは薄れていってしまったような気がします。

本来、学校はとても安全な場所、いちばん安全な場所であるべきです。しかし、そのためには、子どもたちを中心にして、学校の教職員や関係者、地域の方々や保護者のみなさまのご理解とご協力がなくてはなりません。学校の中でも、子どもたちは授業の時間、休み時間、給食の時間、放課後など、いろいろな場所で多くの取り組みを行っています。実にさまざまな時間と場面の中で、一日を過ごしています。そして、それを支えてくださっているお家での生活。朝起きて食事をとって、準備をして集団登校。学校が終わってからの下校。お家での食事、学習、お風呂、団らん、そして睡眠。どれひとつ欠けても、子どもたちの安全で健康な生活を維持していくことが難しくなってしまいます。

これまでも、そんな生活を脅かす「人災」や「天災」に遭遇することがあったわけですが、それに加えて、昨今の「新型コロナウイルス感染症」による、さまざまな影響や心配事。ほんとうに、子どもたちの安全を確保することの大切さと難しさについては、学校・地域・家庭のしっかりと連携がなくては取り組みを進めることもできません。この6月に、私たちはこのことについて、もう一度、しっかりと考えをめぐらしていかなければならないと思います。

これからも、学校は子どもたちのことを中心に考え、大切にしていきたいと思いますので、何かお気づきの点がございましたら、学校までご連絡ください。どうか、各ご家庭、保護者のみなさまのご理解とご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。